

飲酒ノ血液像ニ及ボス影響ニ就テ

金澤醫科大學病理學教室(杉山教授指導)

研究科學生 篠原毅

Tsuyoshi Shinohara

(昭和17年5月1日受附)

内容抄録

健康ナル成年男子6名ヲ擇ビ、飲酒開始後2.5時間ニ於ケル臨床的並ニ血液學的變化ヲ檢索シ、次ノ如キ成績ヲ得タ。

即チ、呼吸數及ビ脈搏數ハ増加ヲ示シ、血色素量ハ減少シ、中性嗜好性白血球ノ極輕度ノ核右方移動ノ傾向ヲ認メタ。而シテ最小血壓、白血球數、中性嗜好性白血球ノ百分率並ニ實數等ハ増減相半シテ一定傾向ハ認メラレズ、最大血壓、「エオゲン嗜好性白血球、鹽

基嗜好性白血球及ビ大單核球等ニハサシタル變化ヲ認メナカッタ。又淋巴球ノ百分率及ビ其ノ實數ハ不嗜酒者ニ於テ増加シ、嗜酒者ニ於テ減少シタ。

以上ノ變化ハ嗜酒者ニ比シ、不嗜酒者ニ於テ著シカッタ。斯ノ如キ飲酒後短時間ニ現ル、臨床的並ニ血液學的變化ハ、酒精飲料ニ對スル習慣ノ程度ニ密接ナル關係ヲ有スル事ヲ認メタ。

目次

緒言

第1章 實驗材料及ビ實驗方法

第2章 實驗成績

第1節 飲酒量及ビ外觀ニ現レタル諸變化

第2節 呼吸數、脈搏數及ビ血壓

第3節 白血球數及ビ血色素量

第4節 各種白血球百分率

第5節 中性嗜好性白血球核移動

第3章 總括及ビ考按

結論

主要文獻

緒言

酒ハ古來ヨリ洋ノ東西ヲ間ハズ、人ノ貴賤ヲ論ゼズ廣ク用ヒラル、嗜好品デアツテ、或ハ之ヲ百藥ノ長ト云ヒ、或ハ百害アツテ一利ナキモノト云ヒ、其ノ功罪論ハ歸一スル處ヲ知ラナイ。併シ多量ノ飲酒ハ吾人ノ身心ニハ少カラヌ惡影響ヲ及ボス事ハ世人ノ普ク認ムル所デ、國家モ亦法ヲ以テ未成年者ノ飲酒ハ禁止シテ居ル所以デアル。斯ノ如ク酒類ハ吾人ノ生活ニ密接

ニ關聯ヲ有シ、且健康上ニ於テモ見逃シ得ナイ影響ヲ及ボスモノデアルガ故ニ、之ニ關スル研究モ多數發表セラレテ居ルガ、血液、特ニ白血球ニ關スルモノハ少イ。故ニ茲ニ諸先輩ノ驥尾ニ附シテ、飲酒開始後短時間ニ於ケル血液學上ノ諸變化ト臨床上ノ諸變化ヲ併セ檢シタ成績ヲ發表スルモノデアル。

第1章 實驗材料及ビ實驗方法

年齢23歳カラ24歳ニ至ル迄ノ健康ナル成年男子6名ヲ擇ビ、飲酒前後ニ於ケル血液ノ諸變化、即チ血色素量、白血球數、各種白血球百分率及ビ中性嗜好性白血球ノ核分裂數等ヲ檢シ、併セテ呼吸數、脈搏數及ビ血壓等ノ臨床的諸變化ヲモ觀察シタ。

1. 被檢者ノ嗜酒程度

被檢者6名中、平素ヨリ全然酒類ヲ嗜マヌ者2名、餘リ嗜マヌ者1名、平素ヨリ大イニ酒類ヲ嗜ム者2名、及ビ前記2名ヨリ稍程度ハ低イガ嗜ム者1名アツタ。

2. 飲用酒類及ビ飲酒方法

上等ナル日本酒ヲ用ヒ、各々液量計ヲ以テ正確ニ其ノ量ヲ測定シテ、飲用ニ供シタ。

3. 血壓測定方法

Tycos 型ノ血壓測定器ヲ用ヒ、聽診法ヲ以テ測定シタ。

4. 血色素測定法

「ザリー氏血色素計」ヲ使用シ測定シタ。

5. 血球計算方法

Thoma-Zeiss 血球計算器ヲ使用シ、血液ヲ「チュルク氏液」ヲ以テ10倍ニ稀釋シテ、全網膜内ノ白血球ヲ計

算シテ、之ヲ100倍シテ求メタ。

6. 塗抹標本製作並ニ検査法

使用ニ供シタ載物硝子及ビ覆蓋硝子ハ重クローム硫酸中ニ1週間浸漬シタ後、流水ニテ2日間洗滌シ、之ヲ90%「アルコール」中ニ貯藏シタ。上記ノ如クニ處理シタ載物硝子及ビ覆蓋硝子ヲ以テ型ノ如ク塗抹標本ヲ製作シテ、May-Giemsa 混合染色ヲ施シテ、油浸裝置ノ下ニ鏡檢シタ。而シテ血液像ノ検査ニハ該標本ノ中央部ニ於テ、可動載物臺ヲ前後ニ端ヨリ端ニ動かシ、視野ニ現レタ白血球200箇ヨリ、各種白血球ノ百分率ヲ求メ、中性嗜好性白血球ハ杉山氏法ニ從ツテ、同細胞100箇カラ之ヲ求メタ。

7. 採血方法

以上ノ血液ノ検査ハ次ノ採血方法ヲ以テ行ツタ。即チ70%「アルコール」ヲ以テ耳朶ヲ消毒清拭シタ後、小刀ヲ以テ小切創ヲ加ヘテ、湧出スル血液ヲ、一度滅菌ガーゼ」ニテ拭ヒ、次デ流出スル血液ヲ以テ諸検査ニ供シタ。

8. 検査時

以上述ベタ諸検査ハ飲酒直前及ビ飲酒開始後2時間30分(飲酒續行中)ニ行ツタ。

第2章 實驗成績

第1節 飲酒量及ビ外觀ニ現

レタル諸變化 (第1表)

1. 飲酒量

飲酒量ハ最低 225cc—最高 750cc ヲ示シ、嗜

第1表 嗜酒程度、飲酒量及ビ外觀ニ現レタル諸變化

検査例	年齢	嗜酒ノ程度	検査時	飲酒量 (cc)	外觀ニ現レタル諸變化
O. M.	23	全ク嗜マズ	飲酒開始後2.5時間	225	顔面著シク潮紅シ、頭痛、全身倦怠、嗜眠等ヲ訴フ。言語寡シ。
H. Y.	23	〃	〃	450	顔面潮紅シ、頭痛、全身倦怠、嗜眠等ヲ訴フ。
U. T.	23	嗜マズ	〃	450	顔面稍潮紅スルモ著カラズ、働作稍活潑ナリ。
N. H.	24	大イニ嗜ム	〃	750	顔面潮紅シ働作著シク活潑ニシテ多辯トナレリ。嗤笑ス。
N. Y.	23	〃	〃	750	顔面普通ナルモ言語働作著シク活潑ニシテ大聲ニテ唱歌ス。稍寒冷ヲ覺ユト訴フ。
K. S.	23	嗜ム	〃	500	顔面稍潮紅ス、言語働作活潑ナリ唱歌ス。

酒者=多く、不嗜酒者=少カッタノハ自然デア
ル。而シテ嗜酒者ハ不嗜酒者ノ略2倍—2.5倍多
ク飲用シタ。

2. 外觀=現レタル諸變化

不嗜酒者ハ一般=顔面ノ潮紅、頭痛、全身倦
怠及ビ嗜眠等ヲ訴へ、言語ハ寡ク、氣分ハ沈鬱
デアツタ。嗜酒者ハ一般=顔面ノ潮紅ハ著シク
ナク、動作ハ活潑トナリ、多辨トナリ氣分モ快
活トナツタ。

第2節 呼吸數、脈搏數及ビ血壓(第2表)

1. 呼吸數

呼吸數ハ 飲酒開始前ハ 最高19—最低12ヲ示
シ、略生理的範圍内ニアツタガ、飲酒後ハ最高
24—最低16ヲ示シ、一般=著明ナル増加ヲ示シ
タガ、唯N. Y. 例=於テハ殆ンド變化ヲ示サナ
カッタ。

2. 脈搏數

飲酒前ハ最高79—最低54ヲ示シタガ、飲酒後
ハ孰レモ著明ニ増加シテ、最高116—最低72ヲ
示シタ。

第2表 呼吸數、脈搏數及ビ血壓

検査例	觀察時	呼吸數	脈搏數	血壓	
				最大	最小
O. M.	飲酒直前	14	79	120	50
	飲酒開始後2.5時間	24	90	120	60
H. Y.	飲酒直前	19	57	112	74
	飲酒開始後2.5時間	24	80	130	40
U. T.	飲酒直前	18	72	110	72
	飲酒開始後2.5時間	24	116	112	62
N. H.	飲酒直前	12	64	110	52
	飲酒開始後2.5時間	16	108	108	62
N. Y.	飲酒直前	17	54	110	62
	飲酒開始後2.5時間	18	78	110	72
K. S.	飲酒直前	14	64	126	72
	飲酒開始後2.5時間	18	72	130	42

3. 血壓

最大血壓ハ飲酒前ハ最高126—最低110ヲ示シ
略生理的範圍内ニアツタガ、飲酒後ハ最高130

—最低108ヲ示シ、1名=於テ(H. Y. 例)=於テ
輕度ノ増加ヲ示シタ外ハ、著變ヲ認メナカッ
タ。

最小血壓ハ飲酒前ハ最高74—最低50ヲ示シ之
亦略生理的範圍内ニアルガ、飲酒後ハ最高72—
最低40ノ間ニ變化シ、増減相半シ一定ノ傾向ハ
認メラレナカッタ。

第3節 白血球數及ビ血色素量(第3表)

1. 白血球數

飲酒前ハ最高8600—最低5000ヲ示シタガ、飲
酒後ハ最高10800—最低5000ノ間ニ變化シ、其
ノ増減ハ區々デアツテ、一定傾向ハ認メラレナ
カッタ。

2. 血色素量

飲酒前ハ最高81—最低61ヲ示シタガ、飲酒後
ハ最高75—最低60ヲ示シ、各例ヲ通ジ輕度ノ減
少ヲ認メタ。

第3表 白血球數及ビ血色素量

検査例	觀察時	白血球數	血色素量 (%)
O. M.	飲酒直前	5000	81
	飲酒開始後2.5時間	10800	75
H. Y.	飲酒直前	6500	77
	飲酒開始後2.5時間	6600	65
U. T.	飲酒直前	5200	70
	飲酒開始後2.5時間	6200	68
N. H.	飲酒直前	6100	70
	飲酒開始後2.5時間	6600	67
N. Y.	飲酒直前	8600	74
	飲酒開始後2.5時間	6600	70
K. S.	飲酒直前	7800	61
	飲酒開始後2.5時間	5000	60

第4節 各種白血球百分率(第4表)

1. 嗜中性白血球ノ百分率ハ、著變ナキモノ
3例、増加セルモノ2例、減少シタモノ1例ア
ツテ、一定ノ傾向ヲ認メラレナカッタ。又之ヲ
其ノ實數値=就テ見テモ、著變ナキモノ、増加
セルモノ、減少セルモノノ、3者アツテ一定ノ
傾向ハ認メラレナカッタ。

淋巴球ハ其ノ百分率ニ於テハ O. M. H. Y. 及
 ビ U. T. 等ノ不嗜酒者ニ於テハ、増加ノ傾向ヲ
 認メ N. H., N. Y. 及ビ K. S. 等ノ嗜酒者ニ於

テハ減少ノ傾向ヲ認メタ。併シ之ヲ實數値ニ就
 テ見ルト、不嗜酒ニハ著明ニ増加シ、嗜酒者ニ
 於テハ著明ニ減少シタルヲ認メタ。

第 4 表 各種白血球百分率 (觀察細胞數 200 個)

検査例	觀察時	中性嗜好細胞 實數	淋巴球 實數	各種白血球百分率(觀察細胞200個)				
				中性 嗜好	「エ」 嗜好	鹽基 嗜好	大單 核球	淋巴球
O. M.	飲酒直前	3150	1510	63.0	2.0	1.5	2.5	31.0
	飲酒開始後 2.5 時間	6966	3396	64.5	2.5	0.5	0.5	32.0
H. Y.	飲酒直前	2990	3055	46.0	1.5	1.5	4.0	47.0
	飲酒開始後 2.5 時間	2343	3729	35.5	1.0	1.0	6.0	56.5
U. T.	飲酒直前	2756	1664	53.0	4.0	2.0	6.0	32.0
	飲酒開始後 2.5 時間	3224	2480	52.0	4.0	1.5	2.5	40.0
N. H.	飲酒直前	2715	3142	44.5	1.0	0.5	2.5	51.5
	飲酒開始後 2.5 時間	2970	2970	45.0	1.5	2.0	2.0	49.5
N. Y.	飲酒直前	3240	4472	40.0	0.5	1.5	6.0	52.0
	飲酒開始後 2.5 時間	4026	2244	61.0	2.0	0.5	2.5	34.0
K. S.	飲酒直前	3783	3627	48.5	1.0	0	4.0	46.5
	飲酒開始後 2.5 時間	3150	1575	63.0	3.5	0.5	1.5	31.5

又「エオゲン」嗜好性白血球、鹽基嗜好性白血
 球及ビ大單核球等ニ於テハ、サントル變化ヲ示

サナカツタ。

第 5 節 中性嗜好性白血球核移動(第 5 表)

第 5 表 中性嗜好白血球核移動

検査例	觀察時	中性嗜好白血球核移動(觀察細胞數100個)					
		I	II	III	IV	V	平均核 分葉數
O. M.	飲酒直前	32	45	21	2	0	1.93
	飲酒開始後 2.5 時間	21	50	27	2	0	2.16
H. Y.	飲酒直前	37	41	21	1	0	1.86
	飲酒開始後 2.5 時間	22	51	24	3	0	2.08
U. T.	飲酒直前	30	46	21	3	0	1.97
	飲酒開始後 2.5 時間	19	48	29	4	0	2.18
N. H.	飲酒直前	27	56	15	2	0	1.92
	飲酒開始後 2.5 時間	17	59	21	3	0	2.10
N. Y.	飲酒直前	11	60	28	1	0	2.19
	飲酒開始後 2.5 時間	14	52	31	3	0	2.23
K. S.	飲酒直前	32	53	15	0	0	1.83
	飲酒開始後 2.5 時間	30	54	15	1	0	1.87

中性嗜好性白血球ノ平均核分葉數ハ飲酒前ハ最高 2.19—最低 1.83ヲ示シタガ、飲酒後ハ最高 2.23—最低 1.87ヲ示シ、各例トモ程度ノ差ハアルガ、孰レモ極輕度ノ増加ヲ示シタ。即チ極輕度ノ核右方移動ノ傾向ヲ認メタ。

第 3 章 總括及ビ考按

以上ノ成績ヲ總括スレバ第 6 表ノ如クデアル。

即チ第 6 表 = 就テ見ル = 飲酒後ハ呼吸數及ビ脈搏數ハ増加シ、血色素量ハ減少シ、中性嗜好性白血球ノ平均核分葉數ハ極輕度ノ増加ヲ示シタ。而シテ最小血壓、白血球數、中性嗜好性白血球百分率並ニ其ノ實數、淋巴球百分率並ニ其ノ實數等ハ増減相半シテ一定傾向ヲ認メラレナカツタ。又最大血壓及ビ「エオデン嗜好性白血球、鹽基嗜好性白血球、大單核球等ノ百分率ニハサシタル變化ヲ認メラレナカツタ。

然ルニ、之ヲ第 7 表ノ如ク嗜酒者、不嗜酒者ニ分ケテ考フレバ割合ニ判然タル傾向ヲ認メ得ラル。

即チ飲酒量ハ不嗜酒者ハ嗜酒者ノ約 5 割 4 分デアツタガ、呼吸數、脈搏數、血色素量及ビ中性嗜好性白血球ノ核分葉數等ノ變化ハ、前者ニ於テ著シク、又淋巴球ノ百分率及ビ其ノ實數共ニ不嗜酒者ニ於テ増加シ、嗜酒者ニ於テ減少ヲ示シタ。特ニ注目スベキハ中性嗜好性白血球ノ平均核分葉數デアツテ、不嗜酒者ニ於テハ 0.18ノ増加ヲ示シタガ、嗜酒者ニ於テハ僅カ 0.07ノ増加ヲ示シタノニ過ギナカツタ。

要之ニ、酒精飲料ヲ飲用シタ場合、短時間後ニ於テ現レル臨床的並血液學的諸變化、特ニ血液學的諸變化ハ單ニ飲用セル酒精飲料量ニノミニ比例スル

第 6 表 總括表 (其 1)

検査例	年齢	嗜酒程度	検査時	飲酒量 (cc)	呼吸數	脈搏數	血壓		血色素量 (%)	白血球數	中性嗜好性白血球實數	淋巴球實數	各種白血球百分率				中性嗜好性白血球平均核分葉數	
							最大	最小					「エ」嗜好	鹽基嗜好	大單核球	淋巴球	「エ」嗜好	鹽基嗜好
O. M.	23	全ク嗜マズ	飲酒直前 飲酒開始後 2.5 時間	225	14 24	79 90	120 120	50 60	81 75	5000 10800	3150 6966	1510 3996	63.0 64.5	2.0 2.5	1.5 0.5	2.5 0.5	31.0 32.0	1.93 2.16
H. Y.	23	〃	飲酒直前 飲酒開始後 2.5 時間	450	19 24	57 80	112 130	74 40	77 65	6500 6600	2990 2843	3055 3729	46.0 35.5	1.5 1.0	1.5 1.0	4.0 6.0	47.0 56.5	1.86 2.08
U. T.	23	嗜マズ	飲酒直前 飲酒開始後 2.5 時間	450	18 24	72 116	110 112	72 62	70 68	5200 6200	2756 3224	1664 2480	53.0 52.0	4.0 4.0	2.0 1.5	6.0 2.5	32.0 40.0	1.97 2.18
N. H.	24	大イニ嗜ム	飲酒直前 飲酒開始後 2.5 時間	750	12 16	64 108	110 108	52 62	70 67	6100 6600	2715 2970	3142 2970	44.5 45.0	1.0 1.5	0.5 2.0	2.5 2.0	51.5 49.5	1.92 2.10
N. Y.	23	〃	飲酒直前 飲酒開始後 2.5 時間	750	17 18	54 78	110 110	62 72	74 70	8600 6600	3240 4026	4472 2244	40.0 61.0	0.5 2.0	1.5 0.5	6.0 2.5	52.0 34.0	2.19 2.23
K. S.	23	嗜ム	飲酒直前 飲酒開始後 2.5 時間	500	14 18	64 72	126 130	72 42	61 60	7800 5000	3783 3150	3627 1575	48.5 63.0	1.0 3.5	0 0.5	4.0 1.5	46.5 31.5	1.83 1.87

第 7 表 總 括 表 (其 2)

檢 查 例	年 齡	觀 察 時	飲酒量 (cc)	呼吸數	脈搏數	血 壓		血色素量 (%)	白血球數	中性嗜 好白血 球實數	淋巴球 實數	各種白血球百分率 (觀察細胞數200個)					中性嗜好 白血球平 均核分葉 數	
						最大	最小					中性 嗜好	「工」 嗜好	鹽基 嗜好	大單 核球	淋巴球		
不 嗜 酒 者	O. M.	23	飲 酒 直 前 飲酒開始後 2.5 時間	225	14	79	120	50	81	5000	3150	1510	63.0	2.0	1.5	2.5	31.0	1.93
					24	90	120	60	75	10800	6966	3396	64.5	2.5	0.5	0.5	32.0	2.16
	H. Y.	23	飲 酒 直 前 飲酒開始後 2.5 時間	450	19	57	112	74	77	6500	2990	3055	46.0	1.5	1.5	4.0	47.0	1.86
					24	80	130	40	65	6600	2343	3729	35.5	1.0	1.0	6.0	56.5	2.08
平 均	U. T.	23	飲 酒 直 前 飲酒開始後 2.5 時間	450	18	72	110	72	70	5200	2756	1664	53.0	4.0	2.0	6.0	32.0	1.97
					24	116	112	62	68	6200	3224	2480	52.0	4.0	1.5	2.5	40.0	2.18
	飲 酒 直 前 飲酒開始後 2.5 時間	375	17	69	114	65	76	5567	2965	2076	54.0	2.5	1.7	4.2	36.7	1.92		
			飲酒開始後 2.5 時間		24	95	121	54	69	7867	4178	3202	50.7	2.5	1.0	3.0	42.8	2.14
嗜 酒 者	N. H.	24	飲 酒 直 前 飲酒開始後 2.5 時間	750	12	64	110	52	70	6100	2715	3142	44.5	1.0	0.5	2.5	51.5	1.92
					16	108	108	62	67	6600	2970	2970	45.0	1.5	2.0	2.0	49.5	2.10
	N. Y.	23	飲 酒 直 前 飲酒開始後 2.5 時間	750	17	54	110	62	74	8600	3240	4472	40.0	0.5	1.5	6.0	52.0	2.19
					18	78	110	72	70	6600	4026	2244	61.0	2.0	0.5	2.5	34.0	2.23
平 均	K. S.	23	飲 酒 直 前 飲酒開始後 2.5 時間	500	14	64	126	72	61	7800	3783	3627	48.5	1.0	0	4.0	46.5	1.83
					18	72	130	42	60	5000	3150	1575	63.0	3.5	0.5	1.5	31.5	1.87
			飲 酒 直 前 飲酒開始後 2.5 時間	650	14	61	115	62	68	7333	3246	3747	44.3	0.8	0.7	4.2	50.0	2.00
			飲酒開始後 2.5 時間		17	86	118	59	66	6067	3382	2263	56.3	2.0	1.0	3.0	38.2	2.07

飲酒ノ血液像ニ及ボク影響ニ就テ

[13]

モノデナク、各個人ノ酒精飲料ニ對スル馴致程度ニ關スル事ガ大デアルト云ヒ得ル。

鶉飼ハ家兎ニ毎kg 10%ノ「アルコール」10ccヲ與ヘ血中及ビ尿中ノ「アルコール」量ヲ測定シ血中ニ於テハ1時間目ニ其ノ量ハ最高ヲ示シ、5時間後ニハ舊ニ復スルト報告シ、高橋ハ犬ニ15%ノ「アルコール」ヲ當kg 20—30cc與ヘ1時間半—2時間半ニ於テ血中ノ「アルコール」量ハ最大ニ達シタト報ジテ居ル。兩氏ノ報告ニ依レバ余ノ採血シタ時間ニ於テハ血中ニ未ダ多量ノ「アルコール」ガ存在シテ居タ事ガ推察セラレル。

壺井ハ「アルコール」ノ種々ナル量ヲ家兎ニ投與シテ眼内壓ノ變動、血壓血液像及ビ血液比重ヲ測定シ次ノ如ク報ジテ居ル。即チ血壓ハ種々ナ濃度ノ「アルコール」投與ニ依リ輕度ノ初期上昇ヲ示シ、次イデ初壓ヨリ下降シ、又血色素量、白血球數及ビ赤血球數ハ共ニ増加ヲ示スト。

齊藤ハ動物ニ「アルコール」ヲ長時日ニ亘リ與ヘ、血液ノ總窒素、殘餘窒素、血糖、K、Ca、

赤血球數、白血球數及ビ血色素量等ヲ測定シ、赤血球數及ビ血色素量ハ著變ヲ認メナイガ、末期ニ於テハ多少ノ増加ヲ示スモノノ様デアアルガ著明デハナク、白血球モ亦著變ヲ認メナイガ末期ニハ多少減少スル様デアルト報ジテ居ル。

柴田及ビ北脇ハ不嗜酒者ニ當kg 2cc嗜酒者ニハ當kg 4cc—8ccヲ飲酒サセ、飲酒後120分ニ於テ血壓、脈搏及ビ吸呼數等ヲ測定シ、最高、最低血壓共ニ下降スルモ、最低血壓ノ方ガ下降ノ程度ハ大デアツタ。又脈搏數ハ飲酒當kg 2cc—4ccノ者ニ於テ増加シ、當kg 6ccノ者ニ於テハ反ツテ減少ヲ示シタト報告シテ居ル。

即チ以上ノ諸家ノ成績ト余ノ成績トハ大體ニ於テ同一傾向ヲ見ラル、モ、細部ニ關シテハ相異ツテ居ルト云ハネバナラス。又最小血壓、白血球數等ガ増減相半シテ一定傾向ヲ認メラレナカツタノハ、齊藤ノ云フ様ニ、之等ハ初期ノ變化ト後期ノ變化トヲ異ニスルモノデアアル故デハナイカト想像セラレ、而シテ又酒精ニ對スル個體差モ亦重要ナル要素ノ一デアナイカト思考セラレル。

結 論

健康ナル成年男子6名ヲ擇ビ飲酒後2.5時間ニ於ケル臨床的及ビ血液學的諸變化ヲ檢索シテ次ノ如キ結論ヲ得タ。

1. 飲酒後ハ前ニ比シ、呼吸數及ビ脈搏數ハ増加ヲ示シ、最大血壓ハ著變ヲ認メズ、最少血壓ハ輕度ノ増減相半シテ一定傾向ヲ認メラレナカツタ。

2. 白血球數ハ増減相半シテ一定傾向ヲ示サナカツタガ、血色素量ハ輕度ノ減少ヲ示シタ。

3. 淋巴球ハ不嗜酒者ニ於テハ其ノ百分率及ビ實數共ニ増加ヲ示シ、嗜酒者ニ於テハ兩者共ニ減少ヲ示シタ。中性嗜好性白血球ハ之ノ反シテ一定傾向ハ認メラレナカツタ。

4. 中性嗜好性白血球ヲ極輕度ノ核右方移動ノ傾向アルヲ認メタ。

5. 以上ノ諸變化ハ不嗜酒者ニ於ケルモノハ嗜酒者ノソレニ比シ、大デアツタ。

文 獻

1) Arneth, Die qualitative Blutlehre 1926.

2) Franzen, G., Untersuchung über Alkohol.

Arch. f. exp. Path. 134, 129, 1928.

3)

森島鹿太, 藥物學, 24版.

4) Rost, E. und Wolf, G., Zur Frage der Beeinflussung der Nachkommenschaft durch Alkohol im Tierversuch.

such. Arch. f. Hyg. 95, 140, 1925. 5)

柴田勝及北脇乾明, 血壓, 脈搏及ビ體温ニ及ボス酒精ノ影響(1)及ビ(3). 保険醫學雜誌, 34卷, 6號, 387, 35卷, 1號, 20. 6) 齋藤守榮, 飲用酒精ノ生體ニ及ボス影響ニ關スル實驗的研究(2)及ビ(3). 東北醫學雜誌, 21卷, 5號, 537頁, 21卷, 6號, 640頁. 7) 壺井忠彦, 「アルコール」ニ依ル家兎血壓竝ニ眼壓ノ變動(會). 中央眼科醫報, 25卷, 8號, 840頁. 8) 高木四郎,

酒精ノ精神ニ及ボス影響ノ實驗(2), 選擇反應ニ及ボス酒精ノ影響. 民族衛生, 7卷, 4號, 245頁. 9) 高橋源二, 酒精飲用ノ生體ニ及ボス影響ニ關スル實驗的研究. 東北醫學雜誌, 18卷, 1, 21頁. 10) 戸田均, 毒物ノ白血球竝ニ血小板ノ機能ニ及ボス影響(3). 京都醫學雜誌, 30卷, 4號, 300頁. 11) 鶴飼昌雄, 血中 Alcohol 量ノ消長ニ就キテ(1). 岡山醫學雜誌, 51年, 12號, 2672頁.